

第72回日本公衆衛生学会

展示ブース出展と自由集会の開催報告

尾崎 恭子 遠藤 敦子

NPO法人 地域がん登録全国協議会 事務局

平成25年10月23～25日に三重県で開催された第72回日本公衆衛生学会に企業ブースの出展と自由集会を開催いたしました。

毎年恒例となります、日本公衆衛生学会企業ブースの出展では、ポスター展示で地域がん登録事業の取り組みを紹介し、パンフレットの配布を通して地域がん登録の普及を行いました。また、実際に足を運んでいただいた皆様からの地域がん登録に関するご質問等にお答えするなど、より多くの方に関心を持っていただける機会となりました。

自由集会は、三重大学の地域がん登録御担当者の皆様に御協力いただき、開催いたしました。自由集会には広く参加を募集した結果、JACR会員だけでなく、研究者、学生、行政担当者といった、様々な立場の方にご参加いただきました。今回の自由集会は、「地域がん登録を知ろう・学ぼう 都道府県がん対策推進基本計画とがん統計」というタイトルで開催いたしました。宮城県、山形県、栃木県、愛知県のがん対策推進基本計画において地域がん登録がどのように利用されているのかを各県より御発表いただき、今後、どのように地域がん登録で得られる情報を各県のがん対策に利用していくことが可能なのか、他県との比較を通して意見交換・討論を行いました。短い時間ではありましたが、内容の濃い、有意義な意見を交換していただくことができ大変充実した自由集会になりました。



1.地域がん登録全国協議会ブースのようす 2と3.自由集会のようす

国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部
地域がん登録室便り

松田 智大 松田 彩子

国立がん研究センター がん対策情報センター
がん統計研究部 地域がん登録室

第3次対がん10か年総合戦略が終了し、がん登録推進法が成立。まさに日本のがん登録の区切りとなった一年でした。来年度から、この事業をまた次の世代に伝えるために、前に進んでいきましょう。

1 | がん登録の標準化

標準システム利用地域は2013年、更に大きく拡大し、北海道、青森、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、東京、埼玉、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、島根、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の40地域で稼働しており、来年度には更に岩手、鳥取で導入が予定されています。全国がん登録へのスムーズな移行も、標準化があつてこそ。登録室での標準的な作業手順もほぼ固まり、新規着任者でも問題なく業務を習得できるような支援体制を作っていきたいです。皆様からの御指導、御助言を期待します。

2 | 地域がん登録行政担当者・実務者研修の開催

今年度も、12月9日～10日の日程で地域がん登録行政担当者・実務者研修を開催し、143名の参加がありました。12月8日のJACRシンポジウムから継続して参加して下さった方も多かったでしょう。来年度は、5月にも実務者研修を設定して、新規着任者の支援をしたいと考えています。全国がん登録に関する説明会の開催も想定されるので、効果的に情報提供ができるよう、日程調整を図りたいと思います。

3 | 全国がん罹患モニタリング集計(2009-2010)の実施

研究班活動として、全事業実施県に、全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ2009及び2010)のデータ提出依頼をし、集計作業を進めています。新規参加県も増え、更に、かねてからの目標であった、即時性を一年早める、ことが実現しそうです。全国がん登録で届出が義務化される前に既に、日本の人口の半分以上をカバー率での「高精度」の統計が実現する可能性が高いです。

4 | 第3次対がん「がんの実態把握に関する研究」班報告会

対がん10か年最後となる、地域がん登録事業会議を2月6-7日にがん研究振興財団国際研究交流会館にて開催する予定です。研究班での10年間の成果を皆様にご報告するとともに、各県と交流し、来年度以降の新体制につなげることを目的としています。懇親会も企画致しますので、ぜひご参加ください。